



社会福祉法人

熊本いのちの電話

KUMAMOTO INOCHINODENWA

通信 67号[事業報告] 令和2年8月



地域社会の幸せのために、 微力ながら支援

熊本トヨタ自動車 社長
熊本いのちの電話 評議員

井原 宏

プロフィール

1963年3月生まれの57歳。持田製薬㈱の勤務を経て、2008年熊本トヨタ自動車㈱に入社。管理本部長、営業本部長を歴任し、2019年6月に熊本トヨタ自動車㈱社長に就任。熊本いのちの電話評議員。

熊本トヨタ自動車は1937年に創立し、以降熊本県におけるトヨタの販売店として営業を続けています。自動車の販売やメンテナンスを主な事業としており、生活において必要不可欠な自動車を安心・安全にご利用いただけるよう日々努めています。近年では自動車を使用される皆様のニーズも多様化しており、カーシェアリングなど必要な時に簡易に利用できるサービスの普及など、ニーズに応じた幅広いサービスの提供の取り組みもスタートしました。

今般、新型コロナウイルス感染症によって私たちの生活も一変しました。学校や会社など今までは当たり前だった集団での生活のシーンが、感染予防の観点から「テレワーク」や「オンライン授業」など、人と人との接触を極力減らすことが求められるようになりました。私も緊急事態宣言が発出されてからステイホームを経験しましたが、家族や会社の人たち以外との接触がほとんどない中で、当たり前だった従来の生活様式がいかに有り難いことだったのかを痛感しました。多くの人がウイルスに感染するかもしれないという恐怖と、親しい友人や仲間との接触もままならない環境で、ストレスを抱えた生活を余儀なくされたのではないかと思います。そのような中で、「熊本いのちの電話」の相談員の皆様は感染予防の対策を行いながら、新型コロナで増加する電話相談に日々対応されているとお聞きして、本当に頭の下がる思いです。

熊本トヨタ自動車では、「熊本を走るすべての人に、一人ひとりの幸せをお届けします」というビジョンのもとに、地域貢献活動にも力を入れています。2013年から取り組みを始めた「熊本トヨタハイブリッド基金」では、ハイブリッド車を1台販売する毎に1,000円を積み立てて、阿蘇の草原の再生・保全活動の支援やロアッソ熊本との共同事業による子供達の健康促進、熊本城の復興支援などの様々な取り組みを行ってきました。昨年から、社員用に設置したコーヒーサーバーの売上金の全額を、「熊本いのちの電話」へ寄付しています。社員一人ひとりが行うことができる社会貢献という意味で、意義のある活動ではないかと思っています。これからも、お客様・地域社会・従業員とその家族の幸せのために何が出来るかを考えながら、微力ながら地域に貢献できる会社として活動を続けていきたいと思っています。熊本いのちの電話の相談員の皆様と、活動を支援されている個人、法人の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。



相談電話 096・353・4343

大学生のメンタルヘルス



藤瀬 昇氏
熊本大学保健センター長

プロフィール

氏名:藤瀬 昇 (ふじせ のぼる) 生年月日:1964年2月28日
 出身地:佐賀県伊万里市 出身大学:1989年 熊本大学医学部 卒業
 精神保健指定医、日本医師会認定産業医、日本精神神経学会専門医・指導医、日本老年精神医学会専門医、日本精神神経学会(代議員)、日本自殺予防学会(評議員)、医学博士
 職歴:1989年4月 熊本大学医学部附属病院・研修医(神経精神科)、1995年4月 益城病院医師、1998年5月 熊本大学医学部附属病院・助手、2007年2月 講師、2016年5月 熊本大学保健センター・教授、2017年1月 熊本大学保健センター長および障がい学生支援室長、現在に至る

著書:「森田療法と熊本五高―森田正馬の足跡とその後―」(共著)創日出版 2018

【最近の活動】

平成20年より熊本県球磨郡あさぎり町において高齢者のうつ予防に取り組んでいる。2016年からは、主に熊本大学の学生・教職員のメンタルヘルス支援に従事している。

(1) 熊本大学保健センターとは

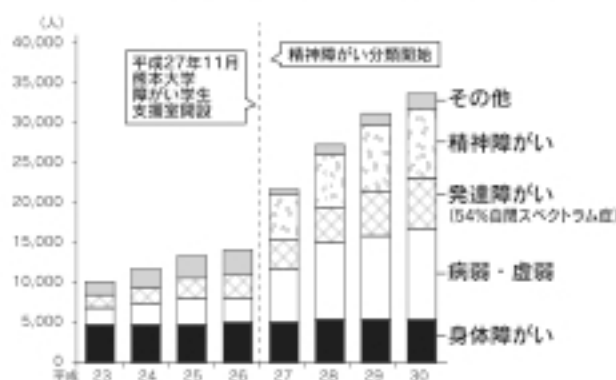
大学の保健センターと言っても、一般の方には馴染みが薄いと思われそうですが、大学の保健室みたいなところ。通常、保健室というと養護教諭の先生が1~2人いらっしゃるのが普通だと思いますが、熊本大学の場合、キャンパスが3つ(黒髪、大江、本荘)あり、学生数が約1万人、教職員が約4千人と規模が大きいため、医師が3名、看護師が3名、キャンパスソーシャルワーカー1名、臨床心理士(非常勤)1名、事務職員1名が常駐し、学生及び教職員の健康管理を担当する福利厚生施設です。

一方、心疾患、腎疾患、糖尿病などの慢性的な内科疾患を指す、病弱・虚弱の学生も増えているのが分ります。ちなみに発達障がいの学生も少しずつ増えており、直近の平成30年では2割弱を占め、その内の54%が自閉スペクトラム症となっています。もともと20歳前後というのは、アイデンティティが揺れ動く多感な時期であり、さまざまな精神疾患の好発年齢であることが昔から指摘されています。

(3) 保健センターへの相談

熊本大学保健センターにも、さまざまな理由で多くの熊大生が訪れます。もちろん大半は体調不良による受診が多いのですが、約1割前後はメンタルヘルス不調の相談です。その多くが精神医学的には「適応障がい」と診断されます。「指導教官の先生と合わない」「サークルでの人間関係が、」「朝起きられず、授業に出られない」など、さまざまな環境に適応できず、抑うつ、不安、イライラを呈するストレス関連障がいの1つです。この「適応障がい」の症状がゴールデンウィークを過ぎた頃からでてくるものを以前から「五月病」と言い、最近では「春バテ」とも言うようです。熊本大学の場合、約4分の3の学生が県外出身で、新入生の多くが親元を離れ初めての一人暮らしとなり、いろんな面から「春バテ」のリスクに晒されるようです。とくに今年の新入生はコロナ禍の中、入学式もなく、キャンパス内に立ち入ることも制限され、縦横の繋がりを作ることができず大きな不安に晒されていると思われます。実際、保健センターでもメールによるメンタルヘルス相談の受付を開設したところ、初日から数件のメールがあり、その多くが新入生でした。自粛生活が続くことで、これまで表面化しなかったいろんな事柄が顕在化してくる

(図1) 大学・短期・高専の障がい学生数の推移



(2) 障がい学生の現状

図1は文科省による、大学、短大、高等専門学校などの高等教育機関に在籍する障がいを抱えた学生数の年次推移のグラフです。年々増加しているのが一目瞭然ですが、障がいの内訳を見てみると、精神障がいという分類が設けられたのが平成27年からですが、以降、精神障がいの学生数が顕著に増えてきています。

ことも考えられますので、今後、注意深く見守っていく必要があると考えています。

(4)春バテ予防策

春バテの予防としては、規則正しい生活（睡眠と食事）を心掛け、自分なりのストレス解消法をみつけることです。大学生であれば、高校生の時の生活パターンを参考にすることも1つの方法です。多くのメンタルヘルス不調に共通してみられるのが睡眠の問題で、注意したいのは、冴えない気分、日中の疲労感、集中力の乏しさなど、一見するとうつっぽく見える場合もあるということです。これらの場合、睡眠衛生の指導と睡眠日誌によるモニタリングを行うことで、うつ病の治療をすることなく、症状が改善することは、よく経験するところです。睡眠リズムの改善のコツは「早起き」と「昼寝を我慢する」です。夜間の睡眠だけを切り取るのではなく、睡眠を1日全体のリズムとして捉える必要があります。日中の過ごし方が大事です。そもそもヒトは日中を活動的に過ごすために睡眠をとっているのです。睡眠導入剤には限界があり、あくまで補助的な治療です。適応障がいも経験しないに越したことはないのかも知れませんが、病院受診にまでは至らない程度の不適応というのは、多くの人が経験するところでしょう。むしろ人は、そういった経験を経てアイデンティティというものを形成していくのかも知れません。肝心なのは、適応障がいをこじらせないことです。適応障がいの治療は、対症療法と環境調整です。環境要因にはさまざまな事柄が含まれ、大学の場合、学生のみならず教職員側への働き掛けも重要です。熊本大学では、学生指導に悩む教職員のための相談窓口も設けています。



(5)熊大の学生支援体制

図2は熊本大学における専門職による学生支援体制です。事務組織に属する学生相談室（キャンパスソーシャルワーカーが常駐）が、キャンパスライフ全般のよろず相談窓口となり、振り分けてくれます。修学面における困りごとであれば、合理的配慮の相談も含め学生支援室（臨床心理士とキャンパスソーシャルワーカーが常駐）へ、医療的な支援が必要そうであれば保健センターへ、といった具合です。保健センター

は、大学におけるセーフティーネット的な役割を担っており、教育現場とは一定の距離を置いています。守秘義務が約束されていないと、学生さんたちも安心して相談できないからです。

(6)大学生の自殺予防について

大学生の自殺予防についても少し触れておきたいと思います。小中学校においては、いじめ対策やいのちの教育と関連して、いくつかの自殺予防プログラムが開発されていますが、18歳未満を対象としたものが多く、大学における自殺対策というのは、各大学が実情に応じてそれぞれ取り組んでいるというのが現状のようです。厚労省の自殺対策白書（平成27年）によると、自殺の原因・動機について、全年齢層を通じて「健康問題」が多いものの、若年層とくに20歳未満では「学校問題」「家庭問題」が、20歳・30歳代では「経済・生活問題」「勤務問題」も多くなることが報告されており、そういった面からも大学生というのは、これから社会に出ていく準備期間にあたる過渡期と言えます。

(図3) 大学生の自殺対策ガイドライン2010

(国立大学法人保健管理施設協議会)

リスク学生

- ・大学生生活不応（不登校、引きこもり）
- ・学業不振
- ・就職困難
- ・長時間作業（研究、論文作成）

ハイリスク学生

- ・自殺関連行動
- ・精神疾患
- ・喪失状況（失恋、経済的困難、死別）
- ・アルコール・薬物乱用
- ・重大な対人被害（ハラスメント、深刻ないじめ）

国立大学法人保健管理施設協議会が2010年に作成した、大学生の自殺対策ガイドラインによると、自殺のリスク学生とハイリスク学生が図3のように示されています。また、全国の国立大学において自殺で亡くなった学生987人（1985年～2005年）の特徴として、男子に多い（とくに医学部と文系）、最終学年と留年者、約19%に何らかの精神科診断あり、が報告されています。この報告の中で気になるのは、自殺学生のうち、保健センターが関与していたのは2割弱に過ぎなかったということです（大西ら、2016）。そういった意味でも、大学保健管理施設を含めた学生相談ネットワークの周知とアクセシビリティの向上が必要と考えています。熊本大学でも、学生定期健診時にメンタルヘルス不調者のスクリーニングを行っており、毎年30～40人の学生が専門職による面談に繋がっています。

以上、熊本大学における大学生のメンタルヘルス支援について述べました。せっかく大学に入学したわけですから、充実したキャンパスライフのためにも上手に保健管理施設を利用してほしいと考えています。最近、熊本大学における学生支援体制に関するYouTube動画も配信されましたので、興味のある方は「熊本大学における学生支援体制」で検索してみてください。

2019年 熊本いのちの電話の相談状況

1. 概況

2019年に熊本いのちの電話で受信した相談件数は9,286件で2018年に比べ595件減少した。これは相談ニーズの減少ではなく相談員の減少による受信態勢の弱体化によるものである。自殺傾向件数は男性からは減少し、女性からは増加している。相談件数に占める自殺傾向件数の割合は2018年に比べ男女ともわずかに増加している。

【表1】 電話相談件数の前年との対比

かけ手	相談件数				自殺傾向件数(再計)			自殺傾向率(%)		
	2019年	2018年	増減数	増減率(%)	2019年	2018年	増減数	2019年	2018年	増減率(%)
合計	9,286	9,881	-595	-6.02	1,260	1,271	-11	13.6	12.9	0.7
男性	5,305	5,612	-307	-5.47	638	663	-25	12.0	11.8	0.2
女性	3,981	4,269	-288	-6.75	622	608	14	15.6	14.2	1.4

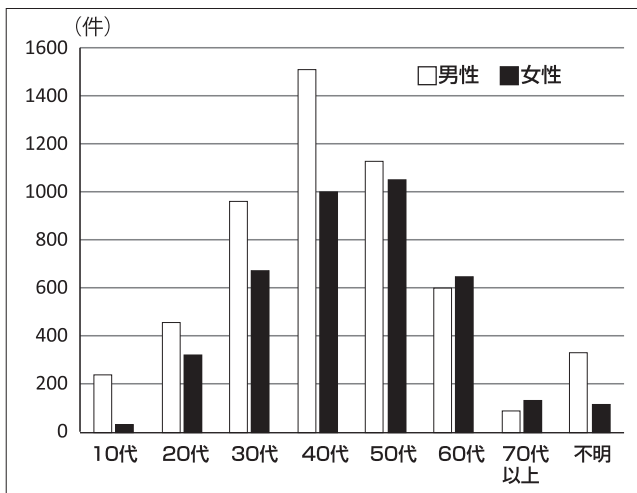
2. 年代別、相談件数と自殺傾向の状況

グラフ1 に示すように相談者の年代別の相談件数では男性は40代、女性は50代がピークとなっている。男女ともに10代20代および70歳以上からの相談電話は少ない。

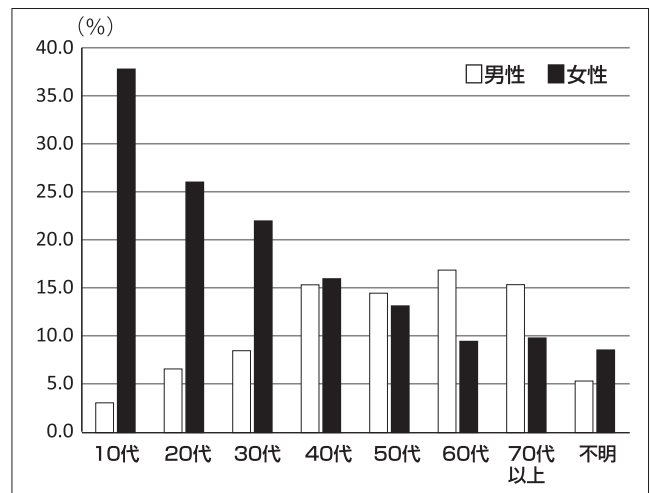
グラフ2 は年代別の相談件数の内、自殺傾向の件数の割合を示したグラフである。

女性は年代が若い程自殺傾向の割合が高く、男性は年代と共に増加しており、男女で年代毎の自殺傾向率が全く異なる傾向を示している。

【グラフ1】 年代別相談件数



【グラフ2】 年代別自殺傾向率



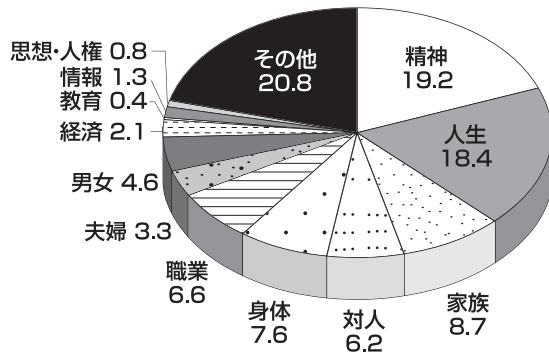
3. 相談内容の状況

グラフ3、グラフ4は男女別に相談内容件数の割合を示している。

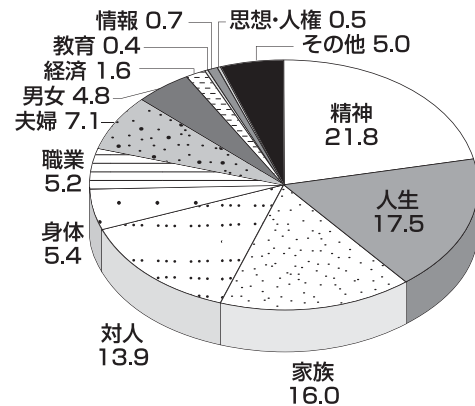
男女ともに精神、人生で約40%を占めている。次に多いのは家族、対人、であるが、男女で比べると女性の方が大きな割合となっている。

男性の相談は分類のどれにも該当しない「その他」が多い。

【グラフ3】 男性の相談内容別割合(%)



【グラフ4】 女性の相談内容別割合(%)



4. 新型コロナウイルスの影響

表2の通り新型コロナウイルス関連の相談は2020年1月から発生している。

2020年4月に急激に増加し5月6月には減少している。

表3の通り相談内容としては新型コロナからの感染が心配、外出できないのが辛い、倒産のおそれ、職場や家庭での人間関係の悪化などが多い。

【表2】 新型コロナウイルス関連相談件数

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
件数	1	8	18	140	118	68	353

【表3】 新型コロナウイルス関連相談内容

分類	具体的相談事例	件数
コロナが心配	<ul style="list-style-type: none"> ・感染が心配 ・感染したらネットで叩かれるのが怖い ・コロナにかかったと思われて困った ・コロナのことを考えると心が沈む ・かかって死ぬことばかり考えている 	126
外出自粛	<ul style="list-style-type: none"> ・入院中の母に会えない ・薬をもらいに病院にいけない ・外出できずストレスが溜まっている ・一人暮らしで寂しいが風俗に行けない ・何しろ誰かと話しがしたい。 ・高校に行けない 	76
倒産、無職、給付金	<ul style="list-style-type: none"> ・アルバイトで雇い留めになった ・自己破産した ・就職内定を取り消された ・クラブの経営が限界。店がつぶれる。 ・収入がなくなり将来が不安 ・居酒屋をやっているが客なく首吊るしかない 	83
家族・人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ・主人が在宅でうとうとし ・職場での人間関係がコロナで悪化した ・マスクをしていない人を見ると我慢できない ・コロナで隣人と騒音問題でトラブルっている ・家族がお互いストレスを抱えている ・夫が在宅勤務でDVにあっている 	32
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・政府のやり方に対する不満 ・マスクも給付金も遅い ・10万円ではどうにもならない ・志村けんの死亡にショック 	36

社会福祉法人 熊本いのちの電話

令和元年度(2019年度) 事業報告

1. 電話相談活動

(1) 熊本いのちの電話

総受信件数 9,286件 (総受信時間 5,135時間)

* 詳細は4頁「電話相談の概況」を参照のこと

(2) フリーダイヤル自殺予防いのちの電話

毎月10日 午前8時～24時間 (受信件数 569件)

9月、3月は20日、30日も実施

(3) インターネット相談:

熊本対応件数 29件、相談員3名

2. 研修活動

(1) 第36期 電話相談員養成基礎講座

場所 熊本YMCA中央センター

①開講式 5月7日～9月10日 18回

②前期(基礎講座) 5月7日～9月10日

③後期(養成講座) 10月1日～令和2年3月24日 24回

④修了式 令和2年2月25日(火)

(2) 第35期生 スーパービジョン(2年目研修)

期間 4月～令和2年3月

人数 16名(男性4名、女性12名) 2班構成で実施

(3) 継続研修

各曜日班(7班編成) 毎月1回実施 研修班出席率89.2%

(4) 全体研修

①6月30日(日) 熊本県総合福祉センター(参加:73名)

テーマ: ロールプレイで応答スキルに磨きをかける

講師: 池田委員、藤谷委員、渡辺研修リーダー

②12月7日(土) 熊本県婦人会館(参加:58名)

テーマ: 電話相談における対応困難事例について

講師: ニキ・ハーティホスピタル 精神科医 二木啓介氏

(5) 第44回 日本自殺予防シンポジウム 愛知大会

9月8日(日) 南山大学(参加:4名)

基調講演: 脳科学が語る「生きる」

講師: 桑 和彦氏(名古屋市立大学 教授)

(6) 第36回 日本いのちの電話相談員全国研修会 おかやま大会

テーマ: かけよう心をつなぐ橋(参加:5名)

基調講演: 心のこと

講師: 黒住宗晴(黒住教名誉教主)



相談活動



2019年度養成講座開講式



全体研修会



自殺予防シンポジウム(奈良)



全国研修会 岡山大会

3. 公開事業・啓発活動

- (1) 第17回自殺予防いのちの電話公開講演会
テーマ：「気持ちをよくするコツ」
～認知行動療法のエッセンスをもちいてしなやかな心を育む～
講師：大野 裕氏（認知行動療法研修開発センター理事長）
参加：251名
- (2) 若年層対策研修会
10月20日(日) 熊本城ホール会議室（参加：44名）
講師：田中慎一郎氏（熊本市教育委員会）
テーマ：子供に寄り添う～彼らが私たちに求めるもの～
- (3) 出前講座
11月20日 光の森町民センター
12月12日 合志市泉ヶ丘センター
3月 7日 御船町カルチャーセンター（新型コロナのため中止）
- (4) 養成講座事前説明会
3月27日 国際交流会館
14、16、19時 3回実施（参加：15名）
- (5) チャリティ公演
8月17日(土) くまもと森都心プラザホール（参加：435名）
テーマ：「華の熊本、城下町めぐり」
出演：熊本太鼓連盟、熊本県吟剣詩舞道、
熊本国府高校吹奏楽部、花童 他
- (6) 部外広報誌「熊本のいのちの電話・通信」を発行
4月(63号)、7月(64号)、1月(65号) 各1,000部発行
- (7) 内部広報誌「りんりん」を発行
7月(第50号)、11月(第51号)、3月(第52号)



大野先生



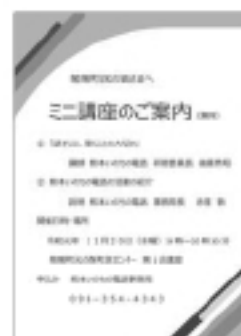
大野先生講演会



田中先生講演会

4. 運営活動

- (1) 第34回開局記念会&第34期電話相談員認定式
6月30日 熊本県総合福祉センター
①表彰
貢献賞表彰 38名
達成時間表彰
500時間達成 7名 1,000時間達成 1名
3,000時間達成 1名
相談員活動動続 10年 3名 20年 1名
②認定 第34期生 6名
- (2) 相談員の更新認定
令和2年3月28日 更新判定会開催 更新認定者 69名
- (3) 第37期養成講座募集 23名
- (4) 資金活動 募金式自販機の拡大 1,011,957円
イオングループ黄色いレシート募金 61,500円



ミニ講座ポスター(菊陽)

5. 各種会議

- (1) 理事・評議員会
5月16日(日) 第60回理事会
平成30年度事業報告・決算報告
6月20日(木) 第50回評議員会
平成30年度事業報告・決算報告
6月20日(木) 第61回理事会・理事長選任
令和2年3月25日(火) 第62回理事会
令和2年度事業計画(案)・予算(案)について
- (2) 日本いのちの電話連盟
①定時社員総会・全国事務局長研修
東京富士見町協会 5月24～25日 事務局長出席
②全国広報担当者研修会
YMCAアジア青少年センター 6月15日 横広報委員長出席
- (3) 九州ブロック関連
①九州ブロック事務局担当者会議
鹿児島センター 2020年1月25日～26日



チャリティ公演

表1 資金収支計算書

令和元年度予算・決算 (白)平成31年4月1日 (至)令和 2年3月31日
令和2年度予算 (白)令和 2年4月1日 (至)令和 3年3月31日

(単位:円)

勘定科目	令和元年度			令和2年度
	予算	決算	差異	予算
事業活動による収支				
事業活動収入	9,758,000	10,742,572	△ 984,572	10,044,500
事業活動支出	8,695,000	8,876,410	△ 181,410	8,374,000
事業活動資金収支差額	1,063,000	1,866,162	△ 803,162	1,670,500
設備整備等による収支				
設備整備等収入	0	0	0	0
設備施設整備等支出	127,440	127,440	0	200,000
設備整備等資金収支差額	△ 127,440	△ 127,440	0	△ 200,000
その他の活動による収支				
その他の活動収入	0	0	0	0
その他の活動支出	396,000	396,000	0	396,000
その他の活動資金収支差額	△ 396,000	△ 396,000	0	△ 396,000
予備費支出	0	0	0	400,000
当期資金収支差額合計	539,560	1,342,722	△ 803,162	674,500
前期末支払資金残高	17,664,683	17,664,683	0	19,007,405
当期末支払資金残高	18,204,243	19,007,405	△ 803,162	19,681,905

表2 事業活動計算書

(白)平成31年4月1日 (至)令和2年3月31日

(単位:円)

勘定科目	令和元年度決算	平成30年度決算
	収 益	
維持会費収益	2,530,273	2,396,064
賛助会費収益	1,571,405	1,915,300
講習受講料収益	585,000	755,000
事業収益	1,489,247	1,029,833
共同募金会収益	150,000	0
善意銀行収益	60,000	60,000
補助金収益	2,900,000	2,799,000
雑収益	1,454,710	1,132,286
サービス活動収益計	10,740,635	10,087,483
費 用		
人件費	2,980,487	2,984,464
事業費	2,454,358	2,244,355
事務費	3,441,585	3,564,415
減価償却費	1,283,261	1,649,668
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 709,600	△ 1,064,320
サービス活動費用計	9,450,071	9,378,582
サービス活動増減差額	1,290,564	708,901
収益 受取利息配当金収益	1,937	3,043
費用 支払利息	0	0
サービス活動外増減差額	1,937	3,043
経常増減差額	1,292,501	711,944
収益 設備整備等補助金収益	0	0
費用 国庫補助金等特別積立金取崩額	0	0
費用 固定資産処分損	0	0
特別増減差額	0	0
当期活動増減差額	1,292,501	711,944
前期末繰越活動増減差額	20,730,779	20,018,835
当期末繰越活動増減差額	22,023,280	20,730,779
基本金取崩額	0	0
次期繰越活動増減差額	22,023,280	20,730,779

熊本いのちの電話

令和元年度 決算報告
令和2年度 予算報告

令和2年3月25日に令和2年度予算が理事会にて、同年6月22日に令和元年度決算が評議員会にて、各々承認されました。
詳細は、表1、表2、表3のとおりです。

表3 貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位:円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	19,439,419	18,487,200	952,219	流動負債	432,014	822,517	△ 390,503
現金・預金	18,995,419	18,383,030	612,389	預り金	5,558	275,004	△ 269,446
貯蔵品	0	0	0	前受受講料	48,000	84,000	△ 36,000
有価証券	0	0	0	未払金	378,456	463,513	△ 85,057
立替金	0	0	0	固定負債	0	0	0
前払費用	278,400	36,050	242,350	負債の部合計	432,014	822,517	△ 390,503
仮払金	55,500	65,120	-9,620				
未収入金	110,100	3,000	107,100				
固定資産	34,360,443	35,120,264	△ 759,821				
基本財産	21,948,000	22,344,000	△ 396,000	純資産の部			
土地	7,000,000	7,000,000	0	基本金	30,000,000	30,000,000	0
建物	13,948,000	14,344,000	△ 396,000	国庫補助金等特別積立金	1,344,568	2,054,168	△ 709,600
基本財産特定預金	1,000,000	1,000,000	0	次期繰越活動増減差額	22,023,280	20,730,779	1,292,501
その他の固定資産	12,412,443	12,776,264	△ 363,821	うち当年度活動増減差額	(1,292,501)	(711,944)	580,557
器具備品	1,543,261	2,188,386	△ 645,125	純資産の部合計	53,367,848	52,784,947	582,901
ソフトウェア	277,182	391,878	△ 114,696				
敷金	40,000	40,000	0	負債及び純資産の部合計	53,799,862	53,607,464	192,398
建物減価償却引当特定預金	8,052,000	7,656,000	396,000				
減価償却引当特定預金	2,500,000	2,500,000	0				
資産の部合計	53,799,862	53,607,464	192,398				

(脚注)減価償却費の累計額 15,776,513円

社会福祉法人 熊本いのちの電話

令和2年度(2020年度) 事業計画

事業方針

1. 電話相談体制の維持、向上

- (1) 相談員数の増加 (2) 空き枠の減少 (3) 研修の充実

2. 若年層自殺予防の推進 (1) インターネット相談活動の拡大 (2) 若年層への啓発活動の推進

3. 財政基盤の強化 (1) 資金サポーターの拡大 (2) チャリティ、自販機等の拡大

4. 広報活動の展開 (1) マスメディア、自治体への積極的な情報提供 (2) 部内向け、部外向け広報の充実

1. 電話相談活動

(1) 熊本いのちの電話

・空き枠対策の検討

(2) 自殺予防いのちの電話(フリーダイヤル)への参画

毎月10日 9月、3月は20日・30日参画

(3) 非通知規制の実施

2. 研修活動

(1) 第37期 電話相談員養成基礎講座

場所 熊本YMCA中央センター

①開講式 令和2年5月12日(火)

②前期(公開講座) 5月12日～9月15日 19回

③後期(養成講座) 10月6日～3月2日 20回

④修了式 令和3年3月2日(火)

(2) 第36期生 スーパービジョン(2年目研修)

期間 4月～令和3年3月

人数 8名(男性3名・女性5名)

(3) 継続研修 各曜日班(8班編成)毎月1回実施、83名

(4) 全体研修 ①6月21日(印) 熊本県総合福祉センター

企画・実施担当: 研修委員会

②11月予定 熊本県総合福祉センター

企画・実施担当: 研修委員会

(5) 第45回日本自殺予防シンポジウム

9月12日(土) 鳥根県(次年度に延期)

(6) 全国研修会 10月15日～17日(土) 三重県

(次年度に延期)

3. 公開事業・啓発活動

(1) いのちの華コンサート

11月14日(土) 白川教会 京都カルテット

(2) 第18回自殺予防いのちの電話公開講演会 (厚生労働省補助事業)

令和3年2月 予定 講師 未定

(3) ボランティア週間バザー

令和2年11月開催予定 サンロード広場

(4) 部外広報誌「熊本いのちの電話・通信」を発行 年3回発行予定(4月、7月、1月)

(5) 内部広報誌「りんりん」の発行

年間3回発行予定(3月、7月、11月)

4. 運営活動

(1) 開局35年記念会&第35期電話相談員認定式

令和2年6月30日(火) 熊本県総合福祉センター

(2) 相談員の更新認定 令和3年3月

(3) 第38期養成講座募集 令和3年3月～4月

(4) 養成講座事前説明会の開催

(5) 資金活動 サポート会員の拡大

募金式自販機の拡大

黄色いレシートキャンペーン

(6) インターネット相談の拡大

5. 各種会議

(1) 理事・評議員会

令和2年5月25日(月) 第63回理事会

令和元年度事業報告・決算報告

令和2年6月22日(月) 第51回評議員会

令和元年度事業報告・決算報告

令和3年3月下旬 第64回理事会

令和3年度事業計画・予算

(2) 日本いのちの電話連盟総会

令和2年5月 書面会議

熊本いのちの電話 感謝報告

ご支援をいただきありがとうございました。

1. 2019年度 ご寄付をお寄せくださった方々

(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 法人・団体の部

(敬称略・順不同)

(株)NTF 寺地 弘幸 NTT西日本 熊本支店 前田 仁 (株)SYSKEN 及び従業員一同 YMCAチャリティゴルフ会 青山法律事務所 青山 定聖 (株)朝倉製作所 朝倉 吉治 (株)あつまるホールディングス 島田 俊郎 一新校区自治協議会 毛利 秀士 出田実業(株) 出田敬太郎 インマヌエル熊本キリスト教会 (株)うしじま酒店 牛嶋 崇 (名)大橋時計店 大橋 善治 大村豊法律事務所 オフィス・ムジカ 西嶋 公一 (医)菊間会 菊間レディースクリニック 島田 清 北里総合法律事務所 北里美知子 (株)木村 木村 光男 九州電機工業(株) 福岡 邦博 (一財)杏仁会 伊津野良治 熊本医療ガス(株) 白瀬貴美子 熊本学園大学 幸田 亮一 熊本企業開発(株)	(福)熊本県共同募金会 荒木 泰臣 熊本市内連合婦人会 熊本製粉(株) 宮本 貫治 (公社)熊本善意銀行 熊本第一信用金庫 豊住 賢一 熊本電気鉄道(株) 中島 敬高 熊本トヨタ自動車(株) 井原 宏 (株)熊本ホテルキャッスル 角田 吉嗣 熊本ロータリークラブ 熊本YMCA 岡 成也 (有)クワ・コーポレーション (医)賢清 尾田胃腸内科・内科 香覚寺 小山 一行 (医)孔子会 福田 剛 (有)コムヨシモト 吉本 寛治 33会 (株)シアーズホーム 丸本 文紀 (社福)酒水福祉会 酒水 寛 齋藤 植子 (株)シスニック 古澤 和行 (医)寿量会 熊本機能病院 茶満弘一郎 浄土真宗本願寺派佛康寺 (宗)誠光寺	西部電気工業(株) 熊本 敏彦 (一社)生命保険協会熊本県協会 セベ産科用品(株) 坪田 隆二 ソニー生命保険(株) 緒方 見成 大熊本証券(株) 出田 信行 (弁)大知 田中法律事務所 田中 俊夫 ダイニング和YA 竹下清税理士事務所 竹下 清 (株)タケモト 武本 英博 (株)たしろ住設 田代 貴久 千歳公認会計士事務所 千歳 睦男 (株)鶴屋百貨店 久我 彰登 東京エレクトロン九州(株)及び従業員一同 (株)トウヤ 東家 恭一 遠山歯科医院 遠山 啓介 (医)徳祐会 やまさき歯科医院 中村公認会計士税理士事務所 中村 孝彦 西田総合保険(有) 西田 和弘 日本基督教団 熊本草葉町教会 日本聖公会 鹿児島復活教会 日本聖公会九州教区 熊本聖三一教会 (医)野尻会 熊本泌尿器科病院 野尻 明弘	(株)肥後銀行 笠原 慶久 日隈眼科医院 日隈隆太郎 (株)古荘本店 古荘 貴敏 まつばセレイースクリニック 村本 順一 美里縫製(株) 坂口 敏雄 (株)みどり印刷社 鬼塚 豊洋 (株)みどりや 東 静一 三原労務管理事務所 三原 裕樹 宮川輝之法律事務所 宮川 輝之 (株)三宅保険総合企画 三宅 聡 明正電設(株) 花田 龍美 元田社会保険労務士事務所 元田 克秋 (株)モーターレンプロイア 郷 宏俊 森本法律事務所 森本 精司 森山義文法律事務所 森山 義文 ゆうかり調剤薬局 高井 正照 有斐総合法律事務所 井上 陽介 匿名 5件
---	--	--	--

(2) 個人の部

(敬称略・順不同)

青木 悟 青木 孝子 赤星 寛子 荒木 伸夫 有古 利幸 伊久美寛志 石川エミ子 伊豆 英一 出井 昇 稲尾 貞臣 猪本 耀子 井上 新 井上 英也	今村眞佐子 岩浅 眞司 岩崎 進 岩永 研一 岩永 道子 上島 澄雄 上田 昭八 上田 祐規 上原 仁朗 上村みどり 内田 直美 江崎 啓子 悦 正治	及川 陽 大井 和美 大我 京子 大久保めぐみ 大村 香澄 小笠原嘉祐 岡田 洋一 緒方 憲男 岡本 洋子 小田部久美子 小嶺 正子 甲斐裕美子 加川やよい	加塩 弘己 片岡 隆治 片桐 清志 加藤 敏行 金子 義勝 神谷 高孝 河北 敏夫 岸本 清一 清水サチ子 久保山嘉男 小出 史 鴻江友紀子 郡山 和代	小島 康子 小澄 康彦 後藤 秀昭 齋伯 哲 酒井保志子 坂村 哲子 櫻井 孝一 鈴木 睦美 高木 容子 高杉ノリ子 高橋 英史 高松 和子 田口 和子	武田 哲夫 田中 征夫 田中 淑子 田中 里佳 儀 恭子 津嶋 基弘 富田 豊喜 長田 幸基 中野慎一郎 中村 静代 中村 直美 西井くに子 野田 幸孝	橋本 上 瀧田 宏子 葉山 武志 林 修子 林 信幸 原 史章 日野 充裕 平井誠一郎 平方 英子 関 由美子 平山謙二郎 廣石 妙子 古荘 信次	堀 セツ子 本田 節子 前原八寿之 牧 勝美 牧 睦美 松尾 修 山本 了 丸山 明 三浦 勲 米光 宏 三原 種昭 宮崎 拓郎 宮崎 文	宮崎美緒子 持永瑞恵、摩子 森崎賢久子 森村 陽子 山村 唯夫 和田 全浩 渡辺 和文 渡辺 誠二 匿名13件
--	---	--	--	--	--	---	---	---

このほか、切手、お茶、コーヒー、お菓子、バザー用品等のご提供がありました。心から感謝申し上げます。

肥後銀行、熊本銀行、熊本第一信用金庫のご厚意で、寄附金お振込みの際の振込手数料を免除いただいております。これにより、ご寄付の全額が熊本いのちの電話の活動を支える資金となります。専用の振込用紙をご利用いただくと、この免除の対象となりますので是非ご利用下さいますようお願い致します。各金融機関のご厚意に対しあらためて感謝申し上げます。

2. 2020年4月1日～6月15日 ご寄付をお寄せくださった方々

(1) 法人・団体の部

(敬称略・順不同)

(株) NTF (株) 朝倉製作所 一新校区自治協議会	寺地 弘幸 朝倉 吉治 毛利 秀士	熊本パレエ研究所 伴 征子 熊本YMCA 岡 成也 香登寺 小山 一行 さいが総合法律事務所 雑賀 庸泰	遠山歯科医院 遠山 啓介 中村公認会計士税理士事務所 中村 孝彦 日本基督教団 錦ヶ丘教会 (医)野尻会 熊本泌尿器科病院 野尻 明弘	(株)モーターレソフロイデア 郷 宏俊 森本法律事務所 森本 耕司 (株)山内本店 山内 卓 ゆうかり調剤薬局 高井 正照 有斐総合法律事務所 井上 陽介
出田実業(株) (名)大橋時計店 オフィス・ムジカ (株)木村 九州電機工業(株) 熊本医療ガス(株) 熊本電気鉄道(株)	出田敬太郎 大橋 善治 西嶋 公一 木村 光男 福岡 邦博 白瀬貴美子 中島 敬高	(社)福酒水福祉会 酒水 寛 齋藤 慎子 (宗)誠光寺 竹下清税理士事務所 竹下 清 (株)たしろ住設 田代 貴久	(株)ミスター・リースリー (株)みどりや 東 静一 宮川輝之法律事務所 宮川 輝之	匿名1件

(2) 個人の部

(敬称略・順不同)

青木 悟 赤星 敦 有馬 修二 池上 道夫 伊豆 英一 稲尾 貞臣	井上 新 猪本 耀子 岩浅 眞司 上島 澄雄 上田真由美 江頭 英子	大井 和美 大我 京子 緒方 憲男 小田部久美子 小山 善文 加塩 弘己	加藤 敏行 北里美知子 久保 理菜 小出 伸介 藤山 和代 古閑 潔	櫻井 孝一 島村 純孝 武田 哲夫 田中 征夫 東家 暁 中野慎一郎	中村 静代 西井くに子 野田 幸孝 羽江 育子 久野 啓介 関 由美子	福田 秀雄 藤本 陽太 堀 セツ子 前原八寿之 牧 勝美 牧 睦美	三浦 康平 水谷 幸子 持永瑞恵、摩子 森崎賀久子 山本 了 米光 宏	渡辺 和文 匿名3件
--	---	---	---	---	--	--	--	---------------

3. 募金式自動販売機設置にご協力いただいている方々

(令和2年5月末日現在)

(敬称略・順不同)

APパーク桜町 KMバイオロジクス(株) (株)SYSKEN (医)愛育会 福田病院 おおつかの郷 菊陽レディースクリニック 北熊本乗馬クラブ 九州電機工業(株)	九州ルーテル学院大学 (株)九電工 熊本県医師会館 熊本市水の科学館 (福)啓明会 蒼山寮 (医)孔子会 孔子の里 金剛(株) (医)寿屋会 熊本機能病院	(医)聖孝会 中村整形外科 崇城大学 慶賓館 建吉観光土地(株) (株)建吉組 (医)寺尾会 寺尾病院 和みほいくえん 西日本電材(株) (特非)花織部	不二高圧コンクリート(株) 松尾建設(株) まつばせレディースクリニック 御船町 湯前町 ルーテル学院高等学校
--	--	---	--

サントリービバレッジサービス(株)、コカ・コーラボトラーズジャパン(株)の2社のご協力を頂き、自販機によるご寄付の仕組みを準備しております。各自販機設置者様のご支援と上記2社のご協力に感謝申し上げます。

イオン 幸せの黄色いレシート キャンペーン

毎月11日に行われるキャンペーンでは、お買い物をなさったお客様から熊本いのちの電話に寄せられた「黄色いレシート」の総額の1%相当額を、ギフトカードとして頂戴し、活動に必要な物品の購入に充てさせていただきます。

イオン熊本中央店とマックスバリュ田崎店でのキャンペーンに参加しております。

お買い物の際には「熊本いのちの電話」のボックスへ黄色いレシートをご投函頂きますようお願い致します。

<イオン熊本中央店>

2019年下期のキャンペーンにより、33,300円相当のイオンギフトカードを頂戴しました。(4/16)

レシートをご投函下さった皆様とイオン熊本中央店様に感謝申し上げます。



贈呈式での シャッターチャンス



東京エレクトロン 様(右)



第35回開局記念会 及び 第35期電話相談員認定式

今年も例年と同様新しく相談員となられた方々の認定式が行われました。

ただ、例年と大きく違ったのは、会場設営と出席者の人数。会場は出来る限りの中で3室を避けました。出席者は認定者を含め22名。

福田理事長の挨拶では、「人の死は豊かなものでなければならない。今、コロナ渦中での別れは手も握らず言葉すら掛けられず窓越しにしか姿を見る事もできず、十分な永遠の別れができない大変に悲惨な状況にある。まして自死は余計に悲惨である。遺された家族周囲の想いを考えなくてはならない。本人だけが自死すればそれで済むことではない。皆さんのお力をお借りしたい。」と述べられました。35期を代表してK・Tさんは「恐らくどれだけやり続けても立派（立派と言っているのか分からないけど）な相談員にはなれないと思うけど出来る限りの中で頑張りたい。」と挨拶されました。例年のように祝う会もなく食事をしながらの談笑もありませんでしたが、記憶に残る式になったのではないのでしょうか。



認定者の声

T・A

電話相談員養成講座で学び始めて早二年が経ちました。講義は面白く、時に厳しく深い内容でした。学びの中で得られたものは知識だけではなく、同期の仲間たちとの出会いです。大切な心強い仲間たちとなりました。認定証を戴いたとき、やっとここまで辿り着いたと思ったのが正直な気持ちです。ひとりで電話を受けるといことは不安も多く、毎回緊張します。「はい、熊本のいのちの電話です」と言った瞬間から心の痛みが和らげる受け手でありたいと思います。日々精進していきたいと思います。

M・U

認定式に臨み一年前、二年前の自分の想いを思い返していました。研修は必死でしたが、実践の一年はとても早く感じています。続けてこれたのは同期のみなさんと学べ、指導して下さる先生方や温かく声を掛けて下さる先輩方、そして家族の理解のお陰だと改めて感謝しています。認定証を受け取る時、少しだけ自信が持てたと同時に続けていく責任感も強く感じました。毎回電話に向かう度にどんな方と繋がるか緊張していますが、現在の生きにくい社会の中で生きている方々の生の声に寄り添える聞き手を目指したいと思います。特別なことではなく、日常として心を込めて取り組みたいと思います。

N・O

世界中でコロナという細菌性ウイルスが流行。大勢の方が亡くなり、又、後遺症が残り苦しまれて人がいることで、私たち35期生の認定式が執り行われました。主催された先生方、先輩方に深く感謝申し上げます。私は、YMCAでの一年間、とても不安でした。何で申し込んだのかと後悔しました。ただ、仲間と会えることだけで頑張ることができました。二年目、相談者との会話の一言一言が緊張そのものでした。その結果、傾聴がいかに大切かということを実感しました。まだまだ相談員として未熟ですが、先生方の指導のもとに自分なりに頑張りたいと思います。



K・N

研修を受けるのに二年の猶予を経て、毎回いつまで続けられるだろうか、という一回一回が背水の陣で臨んだ研修でした。だから、何とか二年間やり終えた、というその重みは大きいです。相談員になっても、時間を捻出して出向くのはやつとで、無事一回終える毎に安堵しています。こんな状態の私がどれだけお役に立てているのか分かりませんが、できるところまでやれば、という思っています。ここまで導いてくださったみなさまに感謝です。拙い私ですが、宜しくお願いします。



S・M

「自己成長のために前期のみ受講しよう。」と思ったのが、養成講座を受講するきっかけでしたが、同期のみなさんに支えられ、もう少し、もう少しと自分を奮い立たせて2年、この度相談員として認定していただきました。これからの目標として、掛け手の声に耳を傾けるために、自分自身が人として豊かでありたいし、心身共に健やかでありたいし、人の痛みや悲しみに寄り添える人でありたい、と思っています。そして、物事を前向きにとらえ、自分のできる範囲で無理をせず、細く永く相談員として活動させていただければと思っています。



Y・F

みなさま、こんにちは。先日は理事長や先生方に見守られながら、少人数での認定式をありがとうございました。改めて振り返りますと、この2年間はあっという間でしたが、充実した時間でもありました。去年は研修生という立場ながら、先輩相談員さんと変わらない形で電話をとって、更にスーパービジョンに出席してと、正直やれるのかな？という不安もありながら、何とかついていくことができました。これからも掛け手さんはもちろん、少しでも皆さまの支援の力になればと思いますので、今後ともよろしくお願ひいたします。



H・I

二年間という高いハードルにチャレンジを始めてから今、大きく成長し得たというよりも大切なことに気付けたことが大きいと思います。勿論、この活動に関する人との出会いも私の財産になりましたが、それ以上に身の回りにある幸せ・恵まれている環境があるという事実気付きました。この事実を知ってからは、普段の生活においても、様々に悩む若い人々に対して自信を持って大丈夫だといえるようになりました。最後に社会貢献活動は、「誰かの為にしてあげる。」から「自身が、気付くことで大きなものを得られる。」へ価値観が好転していくものだと思えるようになりました。



K・T

一年間の座学研修を終えたとき、「これからうまくできるだろうか、役に立てるだろうか？という不安な気持ち満載で悩みは尽きない」という言葉を残していたことを思い出します。そして実際に電話を受け、さまざまなお話を聞いて1年が過ぎた今、考えるのは、悩みはより深く迷宮入りしているということです。電話の内容を引きずったり、日常生活に支障をきたしたりということは全くありませんが、電話の前に座る3時間、4時間が意味のあるものだったのが、掛け手の心を少しでも解きほぐすことができたのが、手応えも、実感することも全くありません。自分には向いていないのでは？勉強が足りないのか？悪意を放出する掛け手に怒りを覚えるのは自分が人として未熟なせい？と、更に悩みは深まっていました。でも、もう少し悩むことを選んで3年目に突入です。

相談員の認定をいただきありがとうございました。一年目の研修後の面接で、受講の理由を尋ねられ、「孫の話聞けるばあちゃんになりたいからです。」と答えました。あくまで個人的理由・考えで今日に至っています。相談員という呼称にとられ抜けきれず、まだ解決策を考えてしまいます。掛け手の気持ちに寄り添い、傾聴のできる受け手になれるといいなあと思っています。みなさん、これからもよろしくお願ひいたします。



F・N



Y・A

2年前、「自分のためになるかも」と思い養成講座を受講した私が、相談員としてKINDの活動を始めるとは、夢にも思っていませんでした。研修期間中は、先生、先輩方にご指導をいただいたこと、感謝しています。また、これからも不安や悩みを相談できる同期の仲間にも、感謝しています。KINDの活動を通して私が感じたことは、「いのちの電話」の存在を必要としている方がたくさんいるということです。私の電話相談の対応は、反省することがばかりですが、今回、認定を受けることができ、改めて「いのちの電話」の相談員としての自覚を持ち、掛け手に寄り添える相談員になれるよう努力していきたいと思っています。

「出前講座」開催 そして 養成講座説明会

2020年度「電話相談員養成講座」受講生募集にあたり、今年度は「出前講座」という新しい取組に挑戦しました。

「話すこと 聴くことの大切さ」と題して後藤秀昭研修委員長がミニ講座を開催し、併せて「熊本のいのちの電話」の魅力伝え受講の案内をしました。

第1回目は菊陽町光の森町民センター、第2回目は合志市泉ヶ丘市民センターで実施。3回目予定の御船町は新型コロナウイルスの影響で中止となり不安倍増です。初めての取組であり、期待と不安が入り交じり参加者の姿を見るまでウロウロ、ドキドキです。1人、2人と参加者の姿が見えると安堵し、どうやっていのちの電話の魅力伝えようかとの意気込みに変わります。また、3月27日実施の募集案内の総仕上げ「事前説明会」は15名の参加を得、「出前研修」2回と合わせ29名の中から17名方が受講の申込をされ、2020年度「第37期電話相談員養成講座」は受講生23名で出発です。



第37期生 電話相談員 養成講座始まりました

令和2年6月2日、YMCA中央センターで「第37期電話相談員養成講座」が開講しました。昨年末から受講生募集の準備をしていましたが、新型コロナウイルス感染防止のため、予定していた出前講座の中止を余儀なくされ、みなさんへのご案内が十分にできない中、開講できるのだろうか一抹の不安がありました。しかし、予定より一ヶ月遅れとなりましたが、23名の受講生をお迎えすることができ、無事に開講できたことにホッとしています。

福田理事長は挨拶の中で、1985年の開局以来35年の歴史の中で、自殺者数の減少がみられるとはいえ、10代、20代の若年層の自殺者数は増えていること、コロナ禍のような世相を反映した難しい相談が増えてくることなどが予想されることなどに触れ、相談者の声を真摯に受け止めていく、私たちの活動の重要性を訴えました。このような状況下にも関わらず、ご参加いただいたことに感謝と敬意を表し、身体に気を付けてこれからの講座に励んでくださいと挨拶されました。

後半は、「いのちの電話の歴史と現状」の講義があり、参加者は熱心に耳を傾けていました。





Y・K氏

養成講座に参加して、四回の講義を受けました。それぞれの先生方から、普通では聞けない貴重な講義を連続して聞けることは自分にとって、非常に有益なことだと感じています。また、今後はただ聞くだけの座学から、ロールプレイング中心の演習となるようで、期待と不安、いや不安の方が多くありますが、参加を決めた以上、やりきらねばと思っています。

いのちの電話を知って丁度二十年になります。私の身の回りでも自殺という現実がありました。他人事ではないと思っていたのですが、相談員のようなそんなことが自分にはできるだろうか。他の受講生ともども、チャレンジしていきたいと思えます。

K・Y氏

幾つかのきっかけがあって、相談員として悩む人の為に支援ができればと思い、受講を決意しました。自分自身もいろいろ苦難を乗り越え、今日まできたので相談の対応には自信満々で受講に臨みましたが、自分が想像していた相談の受け方は全く違うものでした。一方的に言葉で早い解決策を助言し、悩みや不安から逃れさせることが相談員の対応だと思っていた。受講して傾聴の重要性と共感や相づちの必要性を学び、改めて実感し、悩みの解決が先決ではなく、傾聴と共感を基本に相談者の不安な気持ちを和らげ、寄り添い、落ち着いた気持ちに導くことが対応の第一歩と知りました。傾聴すること、さりげない日常会話の中でも時には大事だと思います。先ず、自己啓発のために貴重な講座を最後まで受講しようと思えます。

J・K氏

これまで人と接する仕事をしてきましたが、その人となり思いを馳せることも多く、以前からいのちの電話には興味をもっていました。しかし、同時に私にできるのかという不安も大きく、迷いながらも今年やっと参加することができました。これまでのいのちの電話の精神性、受容の大切さ、人の多様性などを教示いただき、また共感し、信頼を得るためには技術も必要であると学びました。講師の皆さまからは他者を尊重する心持が伝わってきて、心が温かくなりました。受講毎に引き込まれ、頑張ろうという気持ちが募ってきています。これから自身の甘さを痛感し、悩むこともあるかもしれませんが、今の気持ちを大切に皆さまと共に頑張れたらと思います。

T・H氏

在宅で療養する家人に応じて、不要な外出は控えてきました。「熊本のいのちの電話」の活動を知り、夕方からの外出は難しかったのですが、いつか受講できたらと考えていました。今回の応募にあたり、自身の年齢や、最後まで意欲を持ち続けられるか不安がありましたが、後悔するよりはと、思い切って申し込みました。

実際に講義が始まると、毎回、先生方の深く重く広く考えさせられる講義で、充実した時間となりました。

今は、傾聴という難しい役割を果たせるようになれるかより、先ずは、この講座を始まりとして、深く広く学び続けていけたらと考えています。

K・K氏

私の父が相談員をしていましたのでいのちの電話のことは以前から知ってはいました。

ですがどのような活動をしているのか内容までは知らず、興味がありつつもそこで止まっていた。

新型コロナウイルスの問題の中で人と共に生きていくことの大切さを改めて痛感し、これもご縁かと受講を決意しました。

講義を受け、相談員として電話だけで寄り添うことの難しさも感じますが、人間の心理を学ぶことはまるで自分の姿を見ている様で楽しくもあります。

また相談員に大切なことは「想像力」ではないかと思えます。

人に思いを馳せる。簡単そうで実は難しい。私にできることは限られていますが、いのちの響き「響感」を感じてもらえる相談員になれるように学びを深めたいと思えます。

J・F氏

『新型コロナの影響で苦境に立つ人達の受け皿「いのちの電話」が人手不足』との記事を読み、子どもも成長した今、私に何かできるかもしれないと思い切って申し込みました。最初の講義で、海外の志のある人々に源流を持つこの運動が私たち熊本でも困難を乗り越えて多くの方々の情熱によって根付いてきた歴史に触れて、身の引き締まる思いがしました。講座では、普段触れる機会のない第一線で活躍される先生方の生の体験を交えた貴重なお話に新しい世界が広がって毎回感動します。この学びが、これからどのように深まってゆくのか、緊張と期待の中で、実習も経て二年後に誰かの気持ちに寄り添える自分になるために、しっかり真剣に学んでいきたいと思っています。

社会福祉法人 熊本いのちの電話
2020年度

役員名簿

今年度の役員のご紹介です。

理事会・評議員会の会議出席をはじめとして、維持会員の拡大、広報活動、またチャリティ事業へのご協力など様々な分野をご担当頂いています。

2020年(令和2年)6月1日現在

役職	氏名	勤務先・職業	役職	氏名	勤務先・職業
理事長	福田 剛	医療法人社団愛育会 福田病院理事長	評議員	悦 正治	社会福祉法人 同慶女愛会 監事
理事	赤星 敦	社会福祉法人熊本いのちの電話 事務局長	評議員	大橋 善治	(有)大橋時計店 代表社員
理事	後藤 秀昭	社会福祉法人熊本いのちの電話 研修委員長	評議員	岡 成也	熊本YMCA総主事
理事	池田 幸蔵	不動産・損害保険 池田事務所代表	評議員	小笠原嘉祐	特定医療法人社団ビネル会 ビネル記念病院 理事長
理事	堤 弘雄	一般社団法人夢ネットはちどり代表理事/法務省 人権擁護委員	評議員	平島 有希	アステル法律事務所 東京オフィス 弁護士
理事	楠 政彦	(株)エービーシー 社長 広報委員長	評議員	元田 克秋	(一社)全国労働保険事務組合連合会 熊本支部会長
理事	藤谷 裕子	ピアノ教師 熊本いのちの電話研修委員	評議員	吉村圭四郎	瑞鷹(株) 代表取締役副社長
監事	大村 豊	大村豊法律事務所所長 弁護士	評議員・副役員	西嶋 公一	オフィス・ムジカ 代表
監事	中村 孝彦	中村孝彦税理士事務所 税理士	評議員・副役員	日野 充裕	熊本YMCA 総務人事部長
評議員	出田 信行	大熊本証券 代表取締役会長	評議員・副役員	大村 豊	大村豊法律事務所所長 弁護士
評議員	井原 宏	熊本トヨタ自動車(株) 代表取締役社長	評議員・副役員	池田 昌子	熊本いのちの電話事務局職員
評議員	浦川 務	カトリック崎津教会 神父			

電話相談 ボランティアの お誘い

あなたの「声」を「熊本いのちの電話」のボランティアに生かしてみませんか。顔の見えない相談者の苦しみ、悲しみに、あなたの手のぬくもりを「声」に添えて届ける仲間になりませんか。詳しくは事務局にお問い合わせ下さい。

いのちの電話に皆さまのご支援をおねがいいたします

(個人サポート会員・法人サポート会員・随時支援金という形で、どなたでもいつでもご支援いただけます。)
※「社会福祉法人 熊本いのちの電話」への寄付には、税法上の寄付金控除が受けられません。

個人サポート会員：年間 2,000円 3,000円 5,000円
法人サポート会員：年額 1万円 3万円 5万円
随時支援金：時期・金額は随時です。

振込先

口座名/社会福祉法人 熊本いのちの電話
郵便振替 01910-8-11836
銀行振込 肥後銀行 水道町支店 (普)1271746
熊本銀行 下通支店 (普)2122553
熊本第一信用金庫 本店 (普)1202685

編集後記

今年のキーワードは、「コロナ」。何につけても「コロナ」、どこに行っても「コロナ」・普段の不安にも組み込まれ、社会的には不景気の誘因となり、生活苦を訴えられる方も多くおられる。いつ終わるともしれない事態だが、電話は変わらず掛かってきて、相談員が受ける。相談の日常は変わらないが、相談室では消毒、マスク、うがい、手洗いと相談員同士を守るためのグッズが幅を利かせている。こと「コロナ」は、今や共通体験、共通話題となり、話を聴きやすくする。未体験のこと、知らない話題を耳元にしたとき、話の聴き方が問われる。「コロナ」からそんなことを少し考えてみた。

事務局日誌

2020年 4月～6月

令和2年 4月	16日	イオン黄色いレシートキャンペーン贈呈式 イオン熊本中央店
5月	25日	評議員会、理事会 KIND会館
6月	2日	第37期電話相談員養成講座開講式 熊本YMCA
	21日	第35期電話相談員認定式 熊本県総合福祉センター

毎月10日 フリーダイヤル(08:00～11日08:00まで)
毎月第1木曜日 定例研修委員会、第2金曜日 定例運営委員会



社会福祉法人 熊本いのちの電話 事務局

〒860-8691 熊本中央郵便局私書箱155号
TEL096-354-4343

発行人:福田 剛 編集:広報委員会

熊本いのちの電話



赤い羽根共同募金配分金により作成したものです。